

久夏六月廿六日佛七日御爲載御願文被定御號云々遺詔已後此等子細可被申口仙洞光崇哉此  
上宜在時議矣

〔太平記 三十九〕光嚴法皇行脚附崩御事

光嚴院禪定法皇ハ略伏見ノ里ノ奥光嚴院ト聞エシ幽閑ノ地ニゾ住セ給ヒケル

〔皇年代略記 光嚴〕貞治三年七月七日崩御略以此間御庵號被擬追號奉號光嚴院是依遺勅也

〔太平記 三十三〕持明院三上皇自吉野還幸事

新院明ハ伏見ノ大光明寺ニゾ御坐有ケル

〔太平記 三十九〕法皇御葬禮事

此時ノ新院光明院殿略

〔皇年代略記 光明〕康曆二年六月二十四日崩於勝尾御草庵奉號光明院日來奉號光明院依遺勅不改其號

〔皇年代略記 正親町〕文祿二年正月五日崩於仙洞七十五追號正親町院

〔時慶卿記〕文祿二年二月六日今夜遺詔陣ノ儀被行云々號正親町院二條殿ヨリ定被申院ノ北ノ

御門正親町ノ通ナル故ト

〔皇胤紹運錄〕櫻町院 延享四年五月二日行幸于櫻町殿同日讓位

〔閑窓自語〕櫻町仙洞此地ハ天正十四年正親町院御讓位の後仙洞に用ゐられし地にて代々の洞

裏たり櫻町のみかど御脱履あらんとて此地に仙居を造られ延享四年二月二十八日此後櫻町

殿と稱すべき由仰らる

〔賴言卿記〕寬延三年四月廿九日辛未舊院御追號被稱櫻町院之由被申傳了

〔扶桑略記 拔萃〕平城天皇世謂奈良天皇

〔帝王編年記 十三〕太上皇平城稱奈良天皇是

御在所爲一號